

北海道環境情報データベース
データ入力用エクセルツール

システム仕様書

平成23年3月

1. 概要

本ツールは、北海道環境情報データ入力用のツールです。

エクセルを使用しており、チェック機能や CSV 出力機能でマクロを使用しています。

入力に際しては、本入力仕様に従ってください。

2. 動作環境に関する仕様

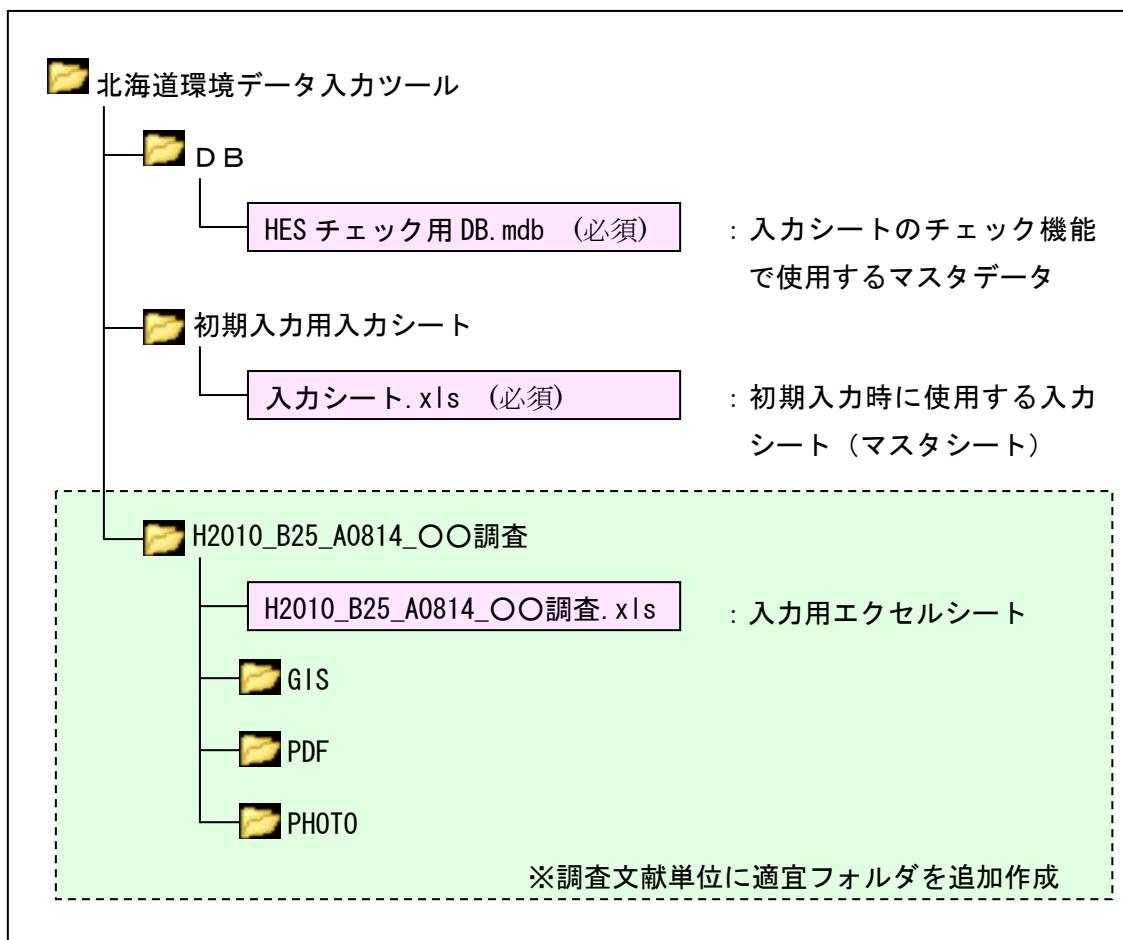
本ツールは、以下の環境で動作します。

動作環境	対応内容
対応エクセルバージョン	Excel 2000, XP, 2003, 2007, 2010
エクセルフォーマット	xls フォーマット(Excel 2003 迄の互換フォーマット)

※同梱している MDB ファイル等はセットで扱う必要があります。

3. ファイル構成

本ツールの初期状態におけるファイル構成は以下のとおりです。



4. フォルダ及びファイル名規約

①調査文献を格納するフォルダ名

調査文献データを格納するフォルダは「文献管理番号」+「文献名」として扱います。

(例) H2006_B20-K0814_〇〇調査 : 文献管理番号 + _ + 調査文献名

※文献管理番号について

各調査文献を識別するための ID 番号です。以下の入力規則でシステムが自動付与します。
一度発行されたキーは変更しないで下さい。

②調査文献別の入力エクセルファイル名

入力用エクセルファイル名は格納フォルダ名と同じものとします。

(例) H2006_B20-K0814_〇〇調査.xls : 文献管理番号 + _ + 調査文献名 + xls

③GIS フォルダ内のファイル

GIS フォルダ内には、調査文献の全体調査範囲を示すレイヤと、調査地点、調査地区範囲を示すレイヤを SHAPE 形式ファイルで格納します。

(A)全体調査範囲

調査文献で対象となる調査範囲全体を示します。

(ファイル名) HE_AREA.shp

【属性内容】

属性項目名	調査文献番号
入力例	H2006_B20-K0814



(B)調査地点(ポイント)

調査地点を示します。

【ファイル名】 HE_ChosaP. shp

【属性内容】

属性項目名	調査文献番号	位置データセット名
入力例	H2006_B20-K0814	BCC-P11_地点 A

※位置データセット名は入力シートとリンクする

(C)調査地区範囲(面)

調査地区の範囲を示します。

(ファイル名) HE_ChosaA. shp

【属性内容】

属性項目名	調査文献番号	位置データセット名
入力例	H2006_B20-K0814	BCC-P11_調査地区 1

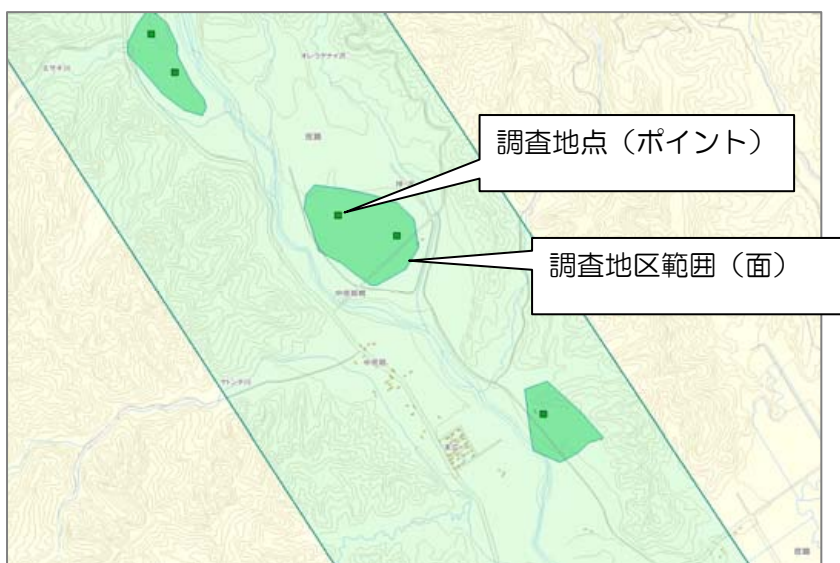
(D)調査ライン(ライン)

調査ルートや飛翔ラインを示します。

(ファイル名) HE_ChosaL. shp

【属性内容】

属性項目名	調査文献番号	位置データセット名
入力例	H2006_B20-K0814	BCC-P11_ルート 1



④PDF フォルダ内のファイル

PDF フォルダ内には、調査文献の電子 PDF ファイルを格納します。

また、PDF ファイルのほか、図面データを TIFF 形式で格納することができます。

PDF フォルダ内にファイルを格納する際には以下のファイル名規約で格納します。

(例) H2006_B20-K0814_001. PDF	: 文献管理番号 + _ + 3桁の番号 + .PDF
H2006_B20-K0814_002. PDF	: 文献管理番号 + _ + 3桁の番号 + .PDF
H2006_B20-K0814_003. PDF	: 文献管理番号 + _ + 3桁の番号 + .PDF
H2006_B20-K0814_004. TIF	: 文献管理番号 + _ + 3桁の番号 + .TIF

⑤PHOTO フォルダ内のファイル

PHOTO フォルダ内には、当該調査の写真ファイルを格納します。

PHOTO フォルダ内にファイルを格納する際には以下のファイル名規約で格納します。

(例) P0001. JPG	: P + 4桁の番号 + .JPG
P0002. JPG	: P + 4桁の番号 + .JPG
P0003. JPG	: P + 4桁の番号 + .JPG
P0004. JPG	: P + 4桁の番号 + .JPG

5. 初期入力ツールのエクセルシート仕様

初期入力時に、使用するツールです。入力用エクセルシートの作成をします。

①入力項目仕様

調査・発行年度：調査・発行年度を西暦で入力。

文献・報告書名：文献名、報告書名を入力。

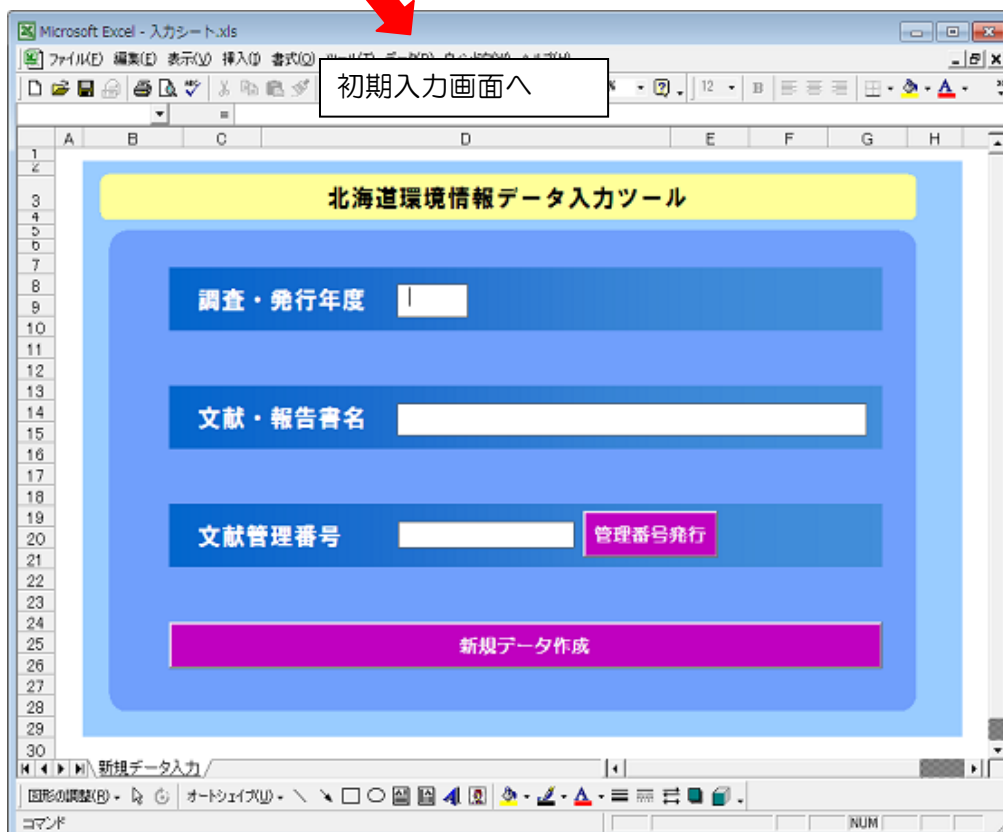
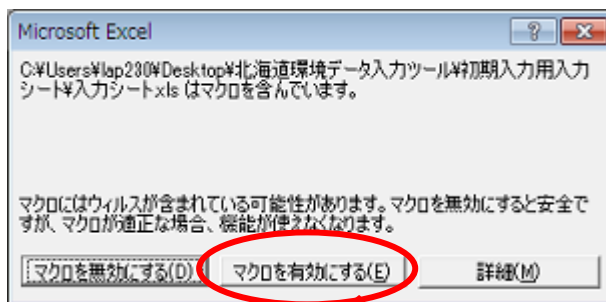
文献管理番号：「管理番号発行」ボタンを押すことにより管理番号が発行されます。

6. 初期入力ツールの仕様

①ツールの起動について

本ツール（エクセルファイル）はマクロ機能を利用しているため、ファイルを開く際に以下のような警告画面が表示されます。

「マクロを有効にする(E)」を選択し、次に進みます。



②新規データ作成について

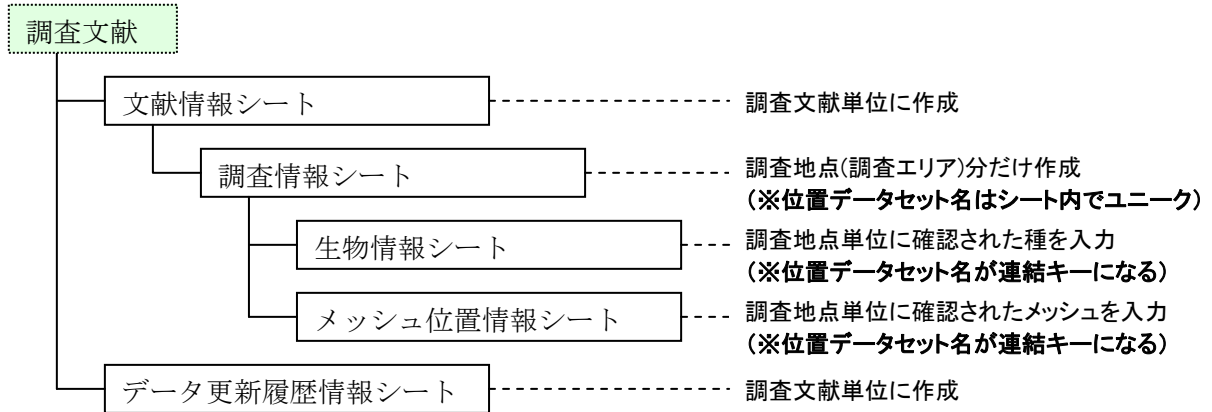
調査・発行年度、文献・報告書名を入力し、管理番号発行後に「新規データ作成」ボタンを押すと、入力ツールが作成されます。(ファイルが作成される場所やファイル名については、「3. ファイル構成」と「4. フォルダ及びファイル名規約」をご参照ください)

「新規データ作成」ボタンを押すと、入力ツールが作成され表示されます。

6. 入力ツールのエクセルシート仕様

①各シートの関連仕様

各シートの関連性は以下のとおりです。



②シート別の入力項目仕様

(1) 文献情報の入力		※は必須入力
調査・発行年度	※	西暦で入力
調査実施機関	※	
調査実施部署		
文献・報告書名	※	
著者名		
調査概要		文献の概要等から抜粋
調査者	※	主である調査者の個人名を記入
調査者その他		その他の調査者の個人名を連名で記入
調査期間		
図書種類	※	アセス書、その他報告書、学会研究誌、逐次刊行物、デジタルデータ、その他
生物分類群	※	魚類、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類、陸上昆虫類、水生昆虫類、甲殻類、貝類、植物
入力作業者名	※	
入力作業年	※	西暦で入力
データ化方法区分		A- I、A- II、A- III、B- I、B- II、B- III、C- I、C- II、C- III、D- I、D- II
データ化方法コメント		
備考		
確認種数		
標本有無	※	有/無
標本の状況等		標本有の場合、状況等を記入
PDFファイル有無	※	有/無
写真ファイル有無	※	有/無
SHP(点)ファイル有無	※	有/無
SHP(線)ファイル有無	※	有/無
SHP(面)ファイル有無	※	有/無
地図精度	※	文献内での地図表現の縮尺を記入(分母を数値で記入)
GIS新旧測地系	※	新:世界測地系(Japanese Geodetic Datum2000) 旧:日本測地系(Tokyo Datum)
(データ管理者記入欄)		
照査フラグ		0:未チェック 1:初期自動検査済 2:目視検査済
外部公開可否		可/不可/調整中
内部情報共有可否		可/不可/調整中
非公開理由の有無		有/無
管理メモ		
文献管理番号		
チェック状況		
エラー結果		

(B) 調査情報シート

(2) 調査情報 ※は必須入力

項目名	区分	文字属性	入力制	解説
文献の章番号	※	30文字	4	文献の章番号を記入
位置区分	※	選択	MESH	GEODD:緯度経度の場合、MESH:メッシュの場合、CITY:市町村レベルの場合 MESH選択時はメッシュ位置情報シートに詳細な位置情報を記入する必要あり
北緯		数値		GEODDを指定した場合に記入 例:41.7725 (少数点形式)
東経		数値		GEODDを指定した場合に記入 例:140.8535 (少数点形式)
位置データセット名	※	255文字	P11_図2-13	メッシュデータとの連携を図るための識別ID
SHP連携		選択	無	有無を選択
市町村	※	30文字	藤中町	調査した市町村を入力
住所1		255文字	霧多布	一般的な地名
住所2		255文字	霧多布屋原	地図上にはない場所の名称
住所3		255文字		さらに詳細な情報
地区名		255文字	地点11	調査地区や調査地点を示す番号や名称
水系名		255文字		河川域調査の場合
河川名		255文字		河川域調査の場合
標高		30文字	2.5	
確認位置備考		255文字		
PDFファイル名		255文字		
調査写真ファイル名		255文字		調査地点の景観等写真
調査年月日自	※		1998/6/24	年、年月、年月日の入力 例:2010、2010/12、2010/12/15
調査年月日至			1998/11/2	年、年月、年月日の入力 例:2010、2010/12、2010/12/15
調査年月日備考		255文字		
調査時天候		30文字	晴	
調査時刻		30文字	14:30	
調査時気温		30文字	18.2	
生息環境(土壌)		255文字		
生息環境(地形)		255文字		
生息環境(気象)		255文字		
備考		255文字		
調査方法区分		選択	目録調査	目録調査、ライン調査、尾点調査、積層調査、方形区調査、点群調査、視本記録、特定種調査
調査方法		255文字	群像組成調査	
調査面積		30文字	2×2m	
調査者		100文字	山田太郎	
調査者他		100文字		
同定者		100文字		
同定者他		100文字		
調査時水温	水域	30文字		水域調査の場合記入
流速	水域	30文字		
河床材料	水域	255文字		
礫の状況	水域	255文字		
水深	水域	30文字		
河床勾配	水域	255文字		
感潮の有無	水域	255文字		
河川形態	水域	255文字		
水域区分	水域	255文字		
傾斜方位	植物	30文字	南西	
傾斜角度	植物	30文字	10	
結生区分	植物	30文字		
群落名	植物	100文字	ワタス、ゲーヤチヤナギ群像	
群落高	植物	30文字		
高木層高さ	植物	30文字		
高木層植被率	植物	30文字		
亜高木層高さ	植物	30文字		
亜高木層植被率	植物	30文字		
低木層高さ	植物	30文字		
低木層植被率	植物	30文字		
草本第1層高さ	植物	30文字	20	
草本第1層植被率	植物	30文字	70	
草本第2層高さ	植物	30文字		
草本第2層植被率	植物	30文字		
コケ層高さ	植物	30文字		
コケ層植被率	植物	30文字		

(前頁の続き)

子備01		255文字	
子備02		255文字	
子備03		255文字	
子備04		255文字	
子備05		255文字	
子備06		255文字	
子備07		255文字	
子備08		255文字	
子備09		255文字	
子備10		255文字	
子備11		255文字	
子備12		255文字	
子備13		255文字	
子備14		255文字	
子備15		255文字	
子備16		255文字	
子備17		255文字	
子備18		255文字	
子備19		255文字	
子備20		255文字	

※予備項目は将来の拡張のためのものです。

(C) 生物情報シート

(3) 生物確認情報 ※は必須入力

項目名	区分	文字属性	入力例	解説
文献の章番号	※	50文字	4	文献の章番号を記入
位置データセット名	※	255文字	P11_図2-13	メッシュデータとの連携を図るための識別ID
生物分類群	※	選択	植物	魚類、鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類、陸上昆虫類、水生昆虫、甲殻類、貝類、植物
生物階層コード	※	選択	0	種の確定レベルを示す(0:種, 1:属, 2:亜科, 3:科, 4:目, 5:亜綱, 6:綱, 7:亜門, 8:門)
生物コード				入力時は記入不要。データベース上で生物マスタコードを付与
公開用種名	※	255文字		公開する際の種名
原資料種名	※	255文字	ワタスゲ	文献に入力されているままの種名を記入(異名、旧名)
学名		255文字		鳥類など種の特定が容易なものは入力不要
種名備考		255文字		
確認数		数値	5	数値で明確な値が入力できる場合数値を入力
確認数備考		255文字		(例)雄〇個体、約〇千羽 など
生物写真ファイル名		255文字		該当生物を撮影した写真ファイル名
取扱注意		選択	1	取り扱い注意と判断される確認情報の場合に「1」をセット
取扱注意の理由		255文字		上記に1をセットした場合に、その理由を記入
詳細調査年月日自				年、年月、年月日の入力 例:2010、2010/12、2010/12/15
詳細調査年月日至				年、年月、年月日の入力 例:2010、2010/12、2010/12/15
確認形態		選択	2	1:標本採集 2:目視 3:鳴き声 4:痕跡 7:聞き取り 8:文献調査 9:不明
確認時の状況		255文字		屋原域に十字状に連続して群生
侵入状況		255文字		
繁殖状況区分		選択	3	1:繁殖を確認 2:繁殖の痕跡 3:繁殖の可能性 4:営巣確認 5:営巣木 8:その他 9:不明
繁殖状況		255文字		
生育状況		255文字		
優占度	植物	10文字	2	
群度	植物	10文字	2	
被度	植物	10文字		
備考		255文字		
子備01		255文字		
子備02		255文字		
子備03		255文字		
子備04		255文字		
子備05		255文字		
子備06		255文字		
子備07		255文字		
子備08		255文字		
子備09		255文字		
子備10		255文字		
子備11		255文字		
子備12		255文字		
子備13		255文字		
子備14		255文字		
子備15		255文字		
子備16		255文字		
子備17		255文字		
子備18		255文字		
子備19		255文字		
子備20		255文字		

【注意事項】

※位置データセットは調査情報シートで入力されているものを指定する必要があります。

(D) メッシュ情報シート

(4)メッシュ位置情報 ※は必須入力

項目名	区分	文字属性	入力例	解説
文献の章番号	※	50文字	4	文献の章番号を記入
位置データシート名	※	255文字	F71_図4-17	連携を図るための識別ID
メッシュコード500m			6445501 21	500mメッシュで位置を示すことが可能な場合入力
メッシュコード3次			6445501 2	1kmメッシュで位置を示すことが可能な場合入力
メッシュコード5km			6445502	5kmメッシュで位置を示すことが可能な場合入力
メッシュコード2次			644550	10kmメッシュで位置を示すことが可能な場合入力
支庁名				支庁レベルでしか位置を示すことができない場合に入力
市町村コード				データベース格納時にコードを付与。入力時は不要。
市町村名		50文字		市町村レベルでしか位置を示すことができない場合に入力
備考		255文字		

※メッシュコードの入力方法

- ・より精度の高い(細かい)レベルで位置が特定できる場合は、そのコードを記入し、他のコード欄は入力不要
- ・メッシュ数が多数に及ぶ場合は、精度を1つ下げたメッシュで入力(1kmが多数の場合、5kmで入力する等)
- ・10kmメッシュでも多数に及ぶ場合は、市町村名で入力(メッシュコードは空欄)

(E) データ更新履歴シート

(5)データ更新履歴 ※は必須入力

項目名	区分	文字属性	入力例	解説
データ更新日	※		2010/11/15	日付入力 (YYYY/MM/DD形式)
更新内容	※	255文字	初回入力	更新内容を入力
作業者		255文字		作業者の名前を入力
確認		255文字		

【注意事項】

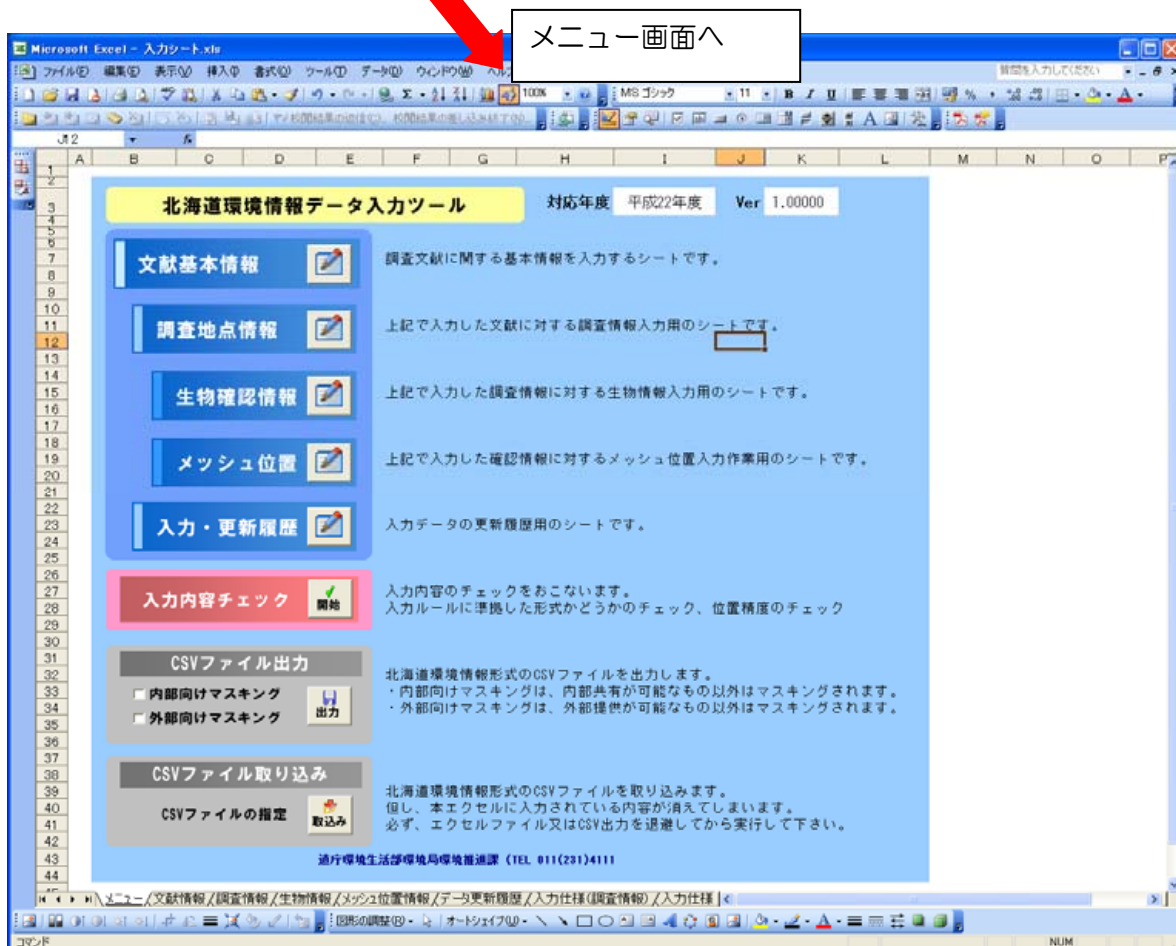
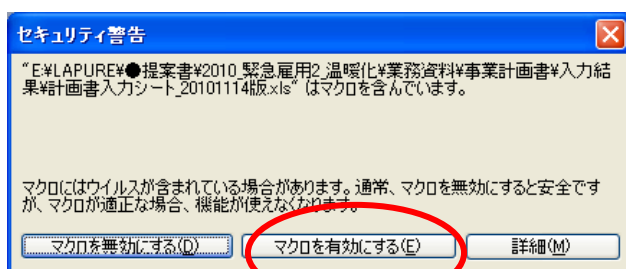
- ※本シートは入力データの品質や確度を高めるためのものです。
- ※データ入力、更新時には必ず入力する必要があります。

7. 入力ツールの仕様

①ツールの起動について

本ツール（エクセルファイル）はマクロ機能を利用しているため、ファイルを開く際に以下のような警告画面が表示されます。

「マクロを有効にする(E)」を選択し、次に進みます。



②メニュー画面の機能

メニュー画面の各機能は以下のとおりです。

機能	機能解説
文献基本情報ボタン	調査文献に関する基本情報を入力するシートを開きます。
調査地点情報ボタン	入力した文献に対する調査情報入力用のシートを開きます。
生物確認情報ボタン	入力した調査情報に対する生物情報入力用のシートを開きます。
メッシュ位置ボタン	入力した確認情報に対するメッシュ位置入力作業用のシートを開きます。
入力・更新履歴ボタン	入力データの更新履歴用のシートを開きます。
入力内容チェックボタン	入力内容のチェックをおこないます。 入カルールに準拠した形式かどうかのチェック、種名チェック、位置精度のチェックを行い、エラー箇所は各シートの対象セルに赤の塗り込みを行います。 ※チェック機能では、DBフォルダ内の「HES チェック用 DB.mdb」を参照利用していますので必ずセットで扱う必要があります。
CSV ファイル出力ボタン	北海道環境情報形式の CSV ファイルを出力します。 ・チェックなしの場合、北海道環境情報形式の CSV を出力します(取り込み可能な形式になります)。 ・内部向けマスキングにチェックを入れると、内部共有が可能なもの以外はマスキングされます。なお、出力フォーマットは全ての情報を 1 行に出力します(取り込みできない形式になります)。 ・外部向けマスキングにチェックを入れると、外部提供が可能なもの以外はマスキングされます。なお、出力フォーマットは全ての情報を 1 行に出力します(取り込みできない形式になります)。
CSV ファイル取り込みボタン	北海道環境情報形式の CSV ファイルを取り込みます。 但し、本エクセルに入力されている内容が消えてしまいます。 必ず、エクセルファイル又は CSV 出力を退避してから実行して下さい。

③チェック機能の仕様

(A) 種名チェック仕様

a. 入力された種名が各種マスタに登録されているものであるか照合チェックします。
生物階層コードにより以下の通り、照合するマスタを決定します。

生物階層コード 0：種
生物階層コード 1：属
生物階層コード 2：亜科
生物階層コード 3：科
生物階層コード 4：目
生物階層コード 5：亜綱
生物階層コード 6：綱
生物階層コード 7：亜門
生物階層コード 8：門

上記マスタと照合し、データがあった場合は一致データの生物コードをセットする。

b. aでデータがなかった場合は、異名マスタと照合する。

異名マスタにデータがあった場合は、そのデータの生物コードをセットする。

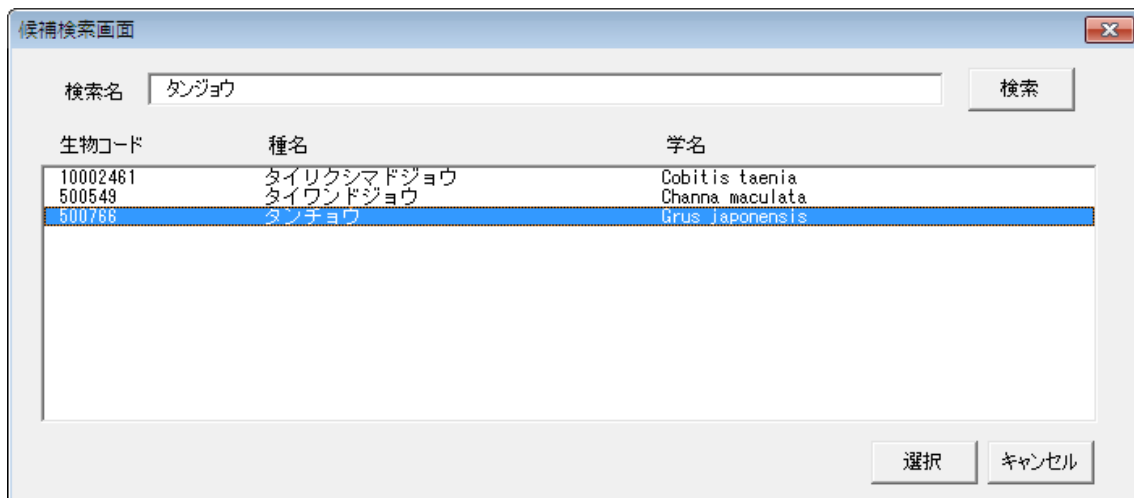
c. 上記処理で、データがなかった場合は、生物コードをエラー表示とする。

	生物分類群	生物階層コード	生物コード	公開用種名	原資料種
	※	※	ダブルクリック候補検索画面	※	
	鳥類	0	59713	クジャクチョウ	クジャク
	鳥類	0	500743	イヌワシ	イヌワシ
	鳥類	0		タンジョウ	タンジョウ
	鳥類	0	5677	ミンバヤツメ属	ミンバヤ
	鳥類	0	500791	オオロシ	オオロシ



生物コードをダブルクリック

次ページへ



生物コードをダブルクリックすると候補検索画面が表示されます。

候補検索画面より種を選び「選択」ボタンを押すと、生物コード、種名がセットされます。

生物分類群	生物階層コード	生物コード	公開用種名	原資料種名
※	※	ダブルクリック 候補検索画面	※	
鳥類	0	59713	クジャクチョウ	クジャク
鳥類	0	500743	イヌワシ	イヌワシ
鳥類	0	500766	タンチョウ	タンチョウ
鳥類	1	5677	ミンバヤツメ橋	ミンバヤ
鳥類	0	500731	オオワシ	オオワシ

d. a もしくは b で複数のデータが一致した場合

生物コードを警告表示します。

生物階層コード	生物コード	公開用種名	原資料種名
※	ダブルクリック 候補検索画面	※	
0	59713	クジャクチョウ	クジャクチョウ
0	500743	イヌワシ	イヌワシ
0	500766	タンチョウ	タンチョウ
1	カ	コサビカミキリ	ミンバヤツメ橋
0	500731	オオワシ	オオワシ

(B) 共通チェック仕様（必須、文字数、日付、数値、選択文字）

各項目の必須チェック、文字数チェック、日付チェック、数値チェック、選択文字チェックは、隠し行の設定によって、チェックの有無を設定できます。

a. 入力必須チェック

	A	B	C	D	E	F	
1	(2)調査地点情報 ※は必須入力						
2	入力必須		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
3	文字数	10	50			255	
4	日付						
5	数値			0,0	0,0		
6	選択文字	MESH,GEOCD,CITY					
7	文献の章番号	位置区分	北緯	東経	位置データセット名	SHR	
8		*			*		
9	1	GEOCD	42.98232825	144.3852844	BCC-011		無
10	2	MESH			CAB-131		有
11							

隠し行の入力必須行に○を設定する事により、その項目の必須チェックが行われます。
(チェックは、「入力内容チェックボタン」を押した時に行われます。)

b. 文字数チェック

	A	B	C	D	E	F	
1	(2)調査地点情報 ※は必須入力						
2	入力必須		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
3	文字数	10	50			255	
4	日付						
5	数値			0,0	0,0		
6	選択文字	MESH,GEOCD,CITY					
7	文献の章番号	位置区分	北緯	東経	位置データセット名	SHR	
8		*			*		
9	1	GEOCD	42.98232825	144.3852844	BCC-011		無
10	2	MESH			CAB-131		有
11							

隠し行の文字数に最大文字数を設定する事により、設定された文字数より多く入力された場合、エラー表示されます。

(チェックは、「入力内容チェックボタン」を押した時に行われます。)

c. 日付チェック

	A	B	C
1		(4)データ更新履歴	
2	入力必須	○	○
3	文字数		
4	日付	○	
5	数値		
6	選択文字		
7		データ更新日	更新内容
8			
9		2010/11/15	初回入力
10		2010/11/20	オオワシデータ入力
11			
12			
13			
14			

隠し行の日付に○を設定する事により、その項目の日付チェックが行われます。
 (チェックは、「入力内容チェックボタン」を押した時に行われます。)

d. 数値チェック

	A	B	C	D	E	F
1		(2)調査地点情報		※は必須入力		
2	入力必須		○			○
3	文字数	10	50			255
4	日付					
5	数値			0,0	0,0	
6	選択文字	MESH,GEOCD,CITY				
7		文献の章番号	位置区分	北緯	東経	位置データセット名
8			※			※
9		1	GEOCD	42.98292825	144.3852844	BCC-011
10		2	MESH			CAB-131
11						

隠し行の数値にチェックの設定をする事により、その項目のチェックが行われます。
 (チェックは、「入力内容チェックボタン」を押した時に行われます。)

[チェック設定について]

範囲チェックの場合、最小数値+, (カンマ)+最大数値 を設定。

例) 1 から 100 までの数値入力可能な項目の場合

「1,100」と入力。

数値チェックのみの場合、「0,0」を設定。

e. 選択文字チェック

	A	B	C	D	E	F
1		(2)調査地点情報		※は必須入力		
2	入力必須		○			○
3	文字数	10	50			255
4	日付					
5	数値			0.0	0.0	
6	選択文字	MESH,GEOCD,CITY				
7		文献の章番号	位置区分	北緯	東経	位置データセット名
8			*			*
9		1	GEOCD	42.98232825	144.3852844	BCC-011
10		2	MESH			CAB-131
11						

隠し行の選択文字にチェックの設定をする事により、その項目のチェックが行われます。
 (チェックは、「入力内容チェックボタン」を押した時に行われます。)

[チェック設定について]

例) 位置区分の場合、MESHとGEOCDとCITYの文字以外は、入力出来ない為
 MESHとGEOCDとCITYをカンマで区切って設定する。
 「MESH,GEOCD,CITY」と設定。

(B) 位置データセット名チェック仕様

位置データセット名は、「調査地点情報」「生物確認情報」「メッシュ位置情報」の各シート間で入力チェックを行います。

a. 「調査地点情報」、「生物確認情報」間チェック

調査地点情報で入力された位置データセット名が、生物確認情報で入力されていない場合は、エラーとなります。

また、生物確認情報に入力されている位置データセット名が調査地点情報に入力されていない場合も同様にエラーとなります。

b. 「調査地点情報」、「メッシュ位置情報」間チェック

位置区分が「MESH」の時に、調査地点情報で入力された位置データセット名が、メッシュ位置情報で入力されていない場合は、エラーとなります。

また、メッシュ位置情報に入力されている位置データセット名が調査地点情報に入力されていない場合もエラーとなります。

(C) 公開レベルチェック仕様

a. 公開レベルチェック

公開レベルの、支庁レベル、市町村レベル、10km、5km、1kmが順当に入力されているかチェックします。

例) 支庁レベル～5kmまでは、内部のみ公開になっているのにも関わらず、1kmで内部、外部ともに公開になっている場合などはエラーとなります。

チェック前					チェック後				
支庁 レベル	市町村 レベル	10km	5km	1km	支庁 レベル	市町村 レベル	10km	5km	1km
■:内部・外部とも公開可 □:内部のみ公開可					■:内部・外部とも公開可 □:内部のみ公開可				
■	■	□	□	□	■	■	□	□	□
■	■	■	□	□	■	■	■	□	□
□	□	□	□	■	□	□	□	□	■

b. 希少種マスタ照合チェック

希少種の場合は、マスタと照合シマスタの公開レベルよりも、外部への公開が多い場合は警告表示をする。

例) マスタが支庁レベル～10kmまでが内部、外部ともに公開で、5km、1kmが内部のみ公開の場合に、支庁レベル～5kmまでを内部、外部ともに公開にした場合は5kmの項目が警告表示となります。

チェック前					チェック後				
支庁 レベル	市町村 レベル	10km	5km	1km	支庁 レベル	市町村 レベル	10km	5km	1km
■:内部・外部とも公開可 □:内部のみ公開可					■:内部・外部とも公開可 □:内部のみ公開可				
■	■	□	□	□	■	■	□	□	□
■	■	■	■	□	■	■	■	■	□
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

(D) 北緯、東経、市町村チェック仕様

入力された北緯、東経が市町村上の座標値で無い場合はエラー表示します。

位置区分	北緯	東経	位置データセット名	SHP連携	市町村	住所1
※			※		※	
GEOCD	42.98232825	144.3852844	BCC-011	無	帯広市	
MESH			CAB-131	有	鶴居村	

北緯 42.98232825、東経 144.3852844 は釧路市である為、エラーとなります。

(E) メッシュコード、市町村チェック

位置データ情報入力を入力されたメッシュコードが市町村上のメッシュコードで無い場合はエラー表示します。

メッシュコード500m	メッシュコード3次	メッシュコード5km	メッシュコード2次	支庁名	市町村コード	市町村名	備考
	64444294					鶴居村	
	64444295					鶴居村	
	64444296					鶴居村	

メッシュコード「64444294」と「64444295」は鶴居村ですが、「64444296」は釧路市である為、エラーとなります。

(F) 取扱注意チェック

取扱注意に1が入力されていないのに、取扱注意の理由に入力がある場合はエラー表示します。

取扱注意	取扱注意の理由
1	〇〇〇〇
	△△△△

④CSV ファイル出力仕様

(A) 北海道環境情報形式出力

内部向け、外部向けのチェックを OFF にし、CSV 出力ボタンを押すと北海道環境情報形式の CSV が出力されます。(取込可能な形式)

文献情報、調査情報、生物情報、位置情報、入力・更新履歴情報の順にデータの出力をします。

[文献情報]

文献情報見出し 1、見出し 2、見出し 3、見出し 4、見出し 5

文献情報データ 1、データ 2、データ 3、データ 4、データ 5、.

[調査情報]

調査情報見出し 1、見出し 2、見出し 3、見出し 4、見出し 5

調査情報データ 1、データ 2、データ 3、データ 4、データ 5、.

.
:
. 調査データ件数分出力
.

[生物情報]

生物情報見出し 1、見出し 2、見出し 3、見出し 4、見出し 5

生物情報データ 1、データ 2、データ 3、データ 4、データ 5、.

.
:
. 生物データ件数分出力
.

[位置情報]

位置情報見出し 1、見出し 2、見出し 3、見出し 4、見出し 5

位置情報データ 1、データ 2、データ 3、データ 4、データ 5、.

.
:
. 位置データ件数分出力
.

[入力・更新履歴]

入力・更新履歴情報見出し 1、見出し 2、見出し 3、見出し 4、見出し 5

入力・更新履歴情報データ 1、データ 2、データ 3、データ 4、データ 5、.

.
:
. 入力・更新履歴データ件数分出力
.

(B) 一覧形式出力

内部向けマスキングにチェックをし、CSV 出力ボタンを押すと一覧様式 CSV の出力処理が実行されます。(取込できない形式)

文献情報、調査情報、生物情報、位置情報、を繋げた形式で CSV データの出力をします。

文献情報見出し…、調査情報見出し…、生物情報見出し…、位置情報見出し… 文献情報データ…、調査情報データ…、生物情報データ…、位置情報データ…
--

⑤ CSV ファイル取込仕様

北海道環境情報形式の CSV ファイルを取り込みます。

CSV データの取り込みを行うと、取り込む前のデータは消されてしまいます。

必ず、データの退避を行ってから実行して下さい。